

普及活動情勢報告（令和2年11月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

養液栽培の知識を深めよう！ ～中芸地区でグループ学習会を開催～



中芸地区では、近年、ナスの養液栽培を選択する新規就農者が増えており、管理技術の向上に向け、農業改良普及課が10月23日にJA奈半利支所で学習会を開催しました。

（株）デルフィージャパンの環境制御技術アドバイザー麻生氏を講師に迎えて、参加した生産者6人が、給液開始時間の考え方や炭酸ガス施用の効果等を学習しました。ハウス温度の設定事例や、排液が出るタイミングを考慮して給液量を判断することについて、生産者と講師、農業改良普及課で掘り下げたディスカッションをしました。

農業改良普及課は、今後も生産者の環境制御技術や養液栽培管理技術の向上を支援していきます。

赤野地区新規就農者の育成を目指して ～ナス現地検討会の開催～



10月26日、安芸市赤野地区の新規就農者を対象とした、ナス現地検討会を指導農業士のは場で実施し、5人の新規就農者が参加しました。

現地検討会では、農業改良普及課から「10～11月の栽培管理について」、指導農業士から「私が新規就農した時の話」、「経営管理」の話を行い、参加者からは、「摘葉して風通しを良くしないといけないことが分かった」、「経営についていろいろな考えがあると分かった」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も新規就農者への支援を行い、収量・品質向上による経営の安定化を目指した活動を行っていきます。

新しい風にのろう ～安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会～



11月2日、安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会全体会をWEB会議で開催しました。今年度はWEB会議の方法について研修を行っており、今回は演習も兼ねて、安芸総合庁舎に6人、室戸支所に3人が集まり2会場をつないで、今後の活動について協議しました。

最初、音声聞こえないハプニングもありましたが「話している人が誰かわかるようにする！」「発言内容へは反応をする！」等に気をつけたことで、少しずつ会話のキャッチボールができるようになりました。

今後の活動として、「安芸・室戸地区農村女性リーダーつどい」を1月に開催する予定で、準備を行っていくこととなりました。農業改良普及課は今後も、農村女性リーダーの活動を支援していきます。

ナスの栽培技術向上を目指して ～ナス現地検討会・勉強会の開催～



11月10日、栽培技術の向上を目的に、中芸集出荷場園芸研究会主催のナス現地検討会・勉強会が開催され、現地検討会に14人、勉強会に8人の生産者が参加しました。

現地検討会でナスの品種特性や炭酸ガスの施用方法などについて意見交換を行った後、勉強会では、農業改良普及課から11～12月のナスの栽培管理、農薬の適正保管について指導しました。生産者からは、「炭酸ガスの適正な施用量がわかった」、「農薬は鍵のかかる場所に保管するようにする」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後もナスの栽培技術指導、農薬の適正保管について指導を行っていきます。

基盤整備後の営農実施計画を協議 ～農事組合法人庄毛ファーム役員会の開催～



11月13日、基盤整備後の営農実施計画作成を目的に農事組合法人庄毛ファームの役員会が開かれ、理事3人と関係者5人が参加しました。

基盤整備課から基盤整備後の土地利用促進計画の概要を説明した後、どのほ場にどの作物を栽培するのを中心に意見交換しました。農業改良課室戸支所からは、新たに取り組む露地ショウガの栽培のポイントを説明しました。

協議の結果、役員からショウガ栽培に適したほ場が提案され、どのほ場で何を栽培するかといった大まかな計画ができました。

農業改良課室戸支所は今後も営農計画の実行に向け、支援します。